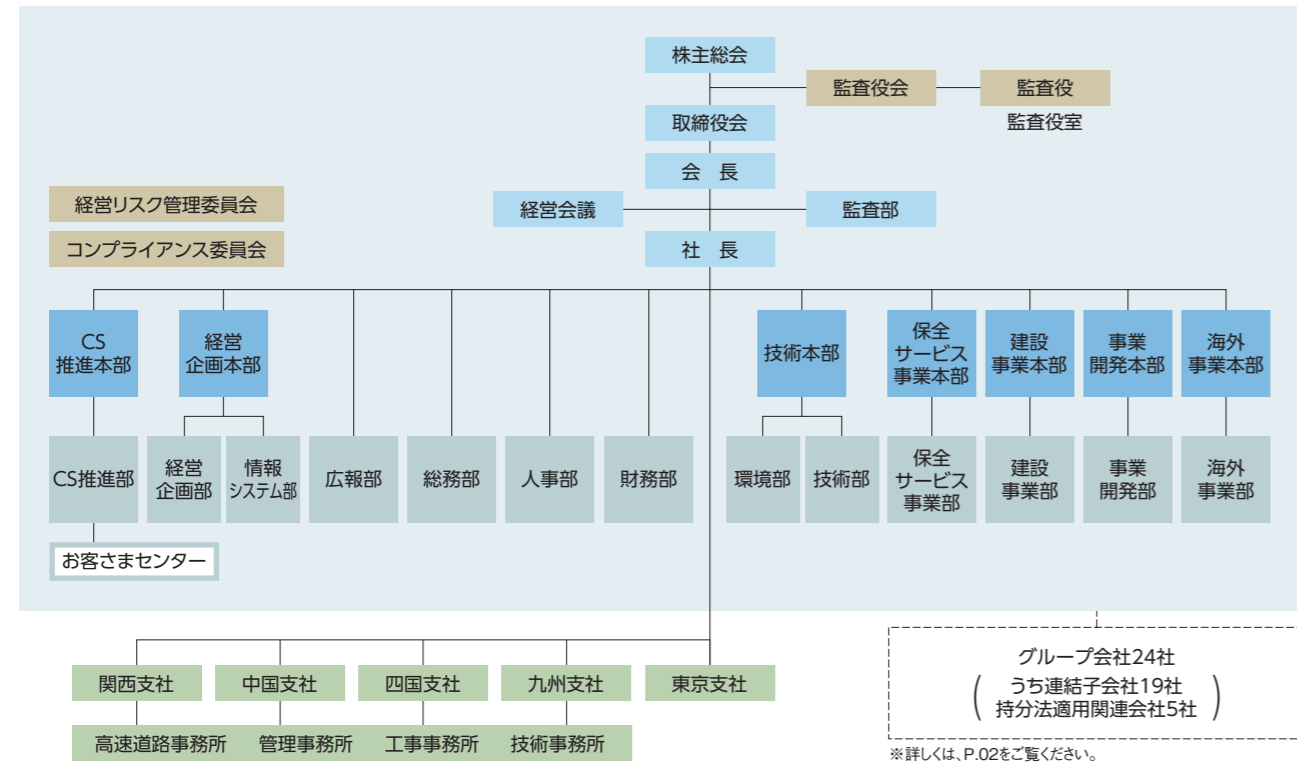


NEXCO西日本グループの業務執行体制

業務執行体制

2010年10月1日現在



※詳しくは、P.02をご覧ください。

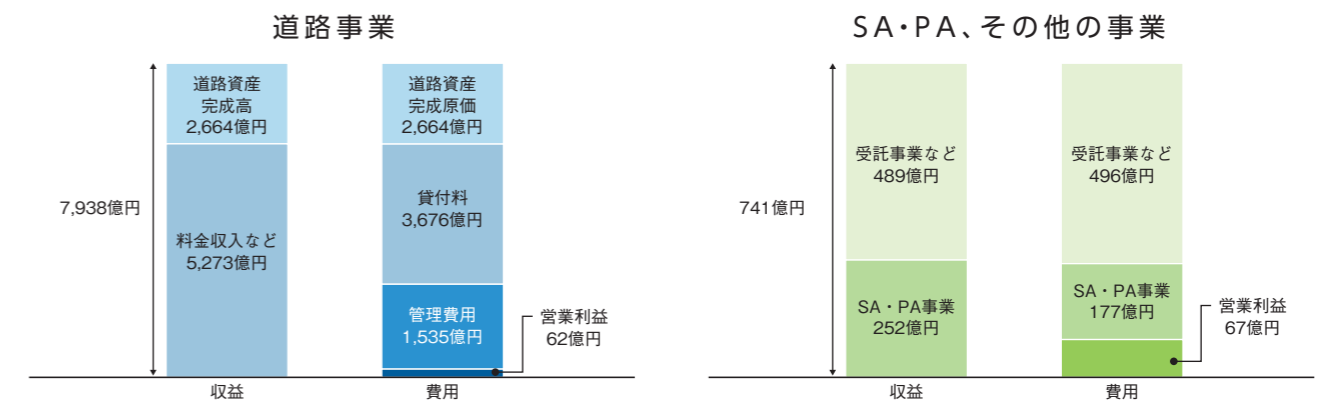
NEXCO西日本グループの財務状況

財務状況

道路事業とサービスエリア・パーキングエリア (SA・PA)、その他の事業に会計を区分しています。2009年度は、道路事業において、料金収入などからあらかじめ定められた高速道路機構への貸付料や必要な管理費用を支出し、営業利益は62億円でした。

SA・PA、その他の事業においてはSA・PAでの営業、駐車場事業のほか、国からの受託事業などがあり、営業利益は67億円、全体では営業利益が130億円、当期純利益は67億円でした。

2009年度連結損益計算書



※民営化後のスキームについては、P.3をご覧ください。
※端数処理の関係により合計が一致しない場合があります。

民営化の概要

NEXCO西日本は、右の3つを目的とする旧道路関係4公団民営化において、旧日本道路公団 (JH) の3分割により2005年10月1日に設立されました。

なお、道路関係4公団は下図のとおり、高速道路資産を保有し、その債務の返済を実施する独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 (以下、高速道路機構) から、高速道路資産を借り受け、運営管理を実施する6会社に分割されています。

民営化の目的

- 1 旧道路関係4公団合計で、約40兆円にのぼる有利子債務を確実に返済すること。
- 2 必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担のもとで建設すること。
- 3 民間企業のノウハウを発揮し、多様で弾力的な料金設定を実現し、お客さまに多様なサービスを提供すること。



〔高速道路機構〕 高速道路の保有・債務返済

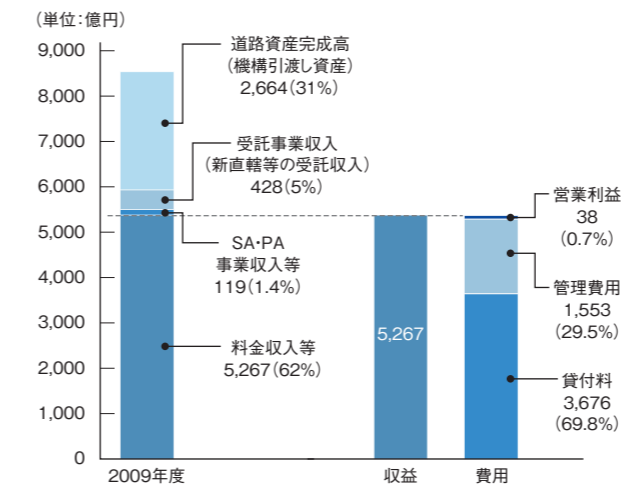
着実な賃借料の支払い

当社の収益と費用

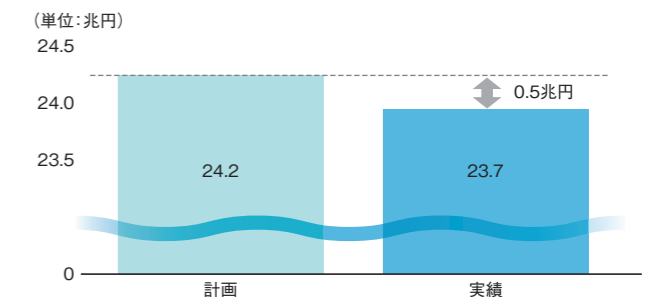
全体収益 (単体)
・収益の6割が高速道路の料金収入、3割が道路資産完成高

高速道路管理事業の費用構成
・営業費用の約7割を賃借料として機構に支払い
・残る約3割で適正な道路管理を実施

合計8,480億円



保有・債務返済機構における債務残高



出典: (独) 日本高速道路保有・債務返済機構
「決算に合わせて開示する高速道路事業関連情報 (平成21年度)」